



第 2 章

希望をかなえるまちづくり (結婚・出産・子育て)

10年後に 目指す姿

結婚や出産の希望を叶えられ、
子育てを楽しむことができる
まちを目指します。

重点テーマ

結婚・出産・子育ての希望実現

重点施策

- 1 結婚や出産に対する支援の充実
- 2 子育て支援の推進
- 3 子育てと仕事の両立支援

結婚や出産に対する支援の充実



目標

結婚や出産を希望する市民一人ひとりが諦めることなく取り組める環境をつくることにより、まちに家庭を築くことの幸せをもたらします

現状と課題

結婚や出産についての選択肢が多様になっている中で、市民一人ひとりが希望を叶えられる社会の実現が求められています



市民に期待する役割

- 結婚希望者による積極的な情報収集
- 将来のライフプランの検討
- 妊娠・出産の正しい知識の習得
- 妊娠・出産への前向きな理解

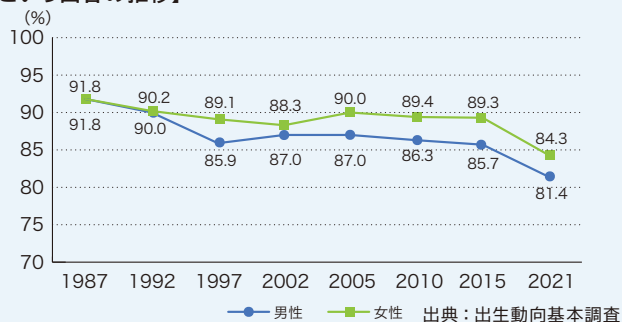


企業・団体に期待する役割

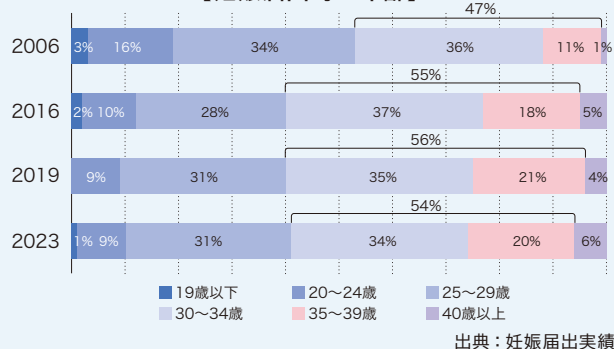
- 結婚希望者を後押しする風土づくり
- ライフイベントを考慮した働きやすい環境づくり
- 妊娠・出産に対する前向きな理解

関連データ

【男女別結婚意思（未婚男女のうち「いずれ結婚するつもり」という回答の推移）】



【妊娠届出時の年齢】



(8) 結婚の希望が持てる環境づくり

成果指標

中高生ライフプラン講座参加者の満足度

実績 (2017)

— %

現状 (2023)

— %

目標 (2027)

75 %

成果指標

相談会・交流会参加者の満足度

実績 (2017)

— %

現状 (2023)

67 %

目標 (2027)

75 %

成果指標

出会い・交流イベントの延べ参加者数 (年間)

実績 (2017)

一人

現状 (2023)

218人

目標 (2027)

220人

1 | 若者未来設計支援事業

- ・若年層のライフプラン講座
- ・教育機関や民間団体等との連携推進

直接成果

自分の理想とする人生を考える機会がある状態

中間成果

結婚にこだわらず、自分とパートナーの未来が描ける状態

2 | 結婚安心サポート事業

- ・結婚相談所と連携した結婚支援事業の実施
- ・民間団体等との連携推進
- ・結婚後の家計などに関する情報提供事業

直接成果

気軽に結婚に関して相談できる場があり、結婚後の経済状況について、イメージができる状態

中間成果

結婚に対する経済的・精神的不安が和らいでいる状態

3 | 交流機会創出事業

- ・民間団体の支援
- ・民間結婚相談所との協働事業
- ・婚活に向けた効果的な自己表現方法を学ぶ機会の提供

直接成果

手軽に出会える場があり、自分に合う人がどんな人かわかる状態

中間成果

結婚を希望する人が自分に合うパートナーに出会える状態

最終成果 (施策の方向性)

結婚に対する不安が解消され、一歩前に踏み出せる状態を目指します

(9) 妊娠・出産への支援

成果
指標

プレコンセプションケアセミナーの延べ参加者数（年間）

実績（2017）
618人

現状（2023）
798人

目標（2027）
850人

成果
指標

妊娠7～8か月頃、安心して妊娠期を過ごすための支援を実施した割合

実績（2017）
— %

現状（2023）
97.8%

目標（2027）
100%

1 | 不妊・不育支援事業

- ・プレコンセプションケア（妊娠・出産適齢期やライフプラン等についての健康教育）の実施
- ・不妊・不育症治療費助成

直接成果

妊娠・出産への正しい知識を持っており、不妊への悩みがない状態

中間成果

妊娠への不安や悩みがない状態

最終成果（施策の方向性）

希望する人が安心して妊娠・出産できる状態を目指します

2 | 妊娠期サポート事業

- ・妊婦のための支援給付・妊婦等包括相談支援事業の実施
- ・妊婦健診・妊婦歯科健診
- ・ハローベビークラスの実施

直接成果

妊娠・出産を前向きな気持ちで捉えられる状態

中間成果

妊婦（家族を含む）が安心して出産を迎えられる状態

関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、前橋市こども・子育て支援事業計画、まえばしwindプラン、第5次前橋市男女共同参画基本計画

子育て支援の推進



目標

社会情勢の変化に伴う子育ての不安や悩みを解消することで、誰もが安心して子育てに取り組めるまちを実現します

現状と課題

家族のあり方やライフスタイルの変化に伴って多様化した子育てへの不安や悩みに的確に対応した子育て支援のサービスや場の充実が求められています



市民に期待する役割

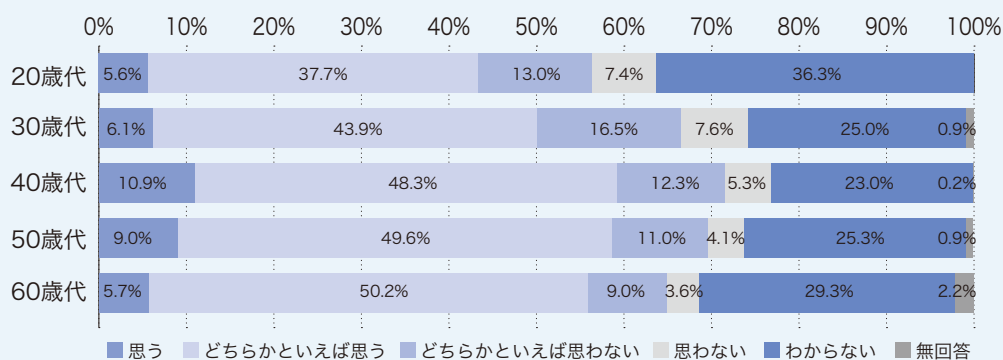
- 子育てに関する悩みなどの相談
- 子育て世代の交流への積極的な参加
- 子育て支援情報の積極的な収集
- 子育て支援事業への参加

企業・団体に期待する役割

- 子育てに関する相談窓口や、交流サロンの設置
- 子育てに関する情報発信・情報提供
- 子育て支援事業の推進

関連データ

【市民アンケート「前橋市は子育てしやすいまちだと思いますか」】



出典：2023年度市民アンケート

(10) 子育て世代への包括的な支援

成果指標

健やか親子21のアンケートで「お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。」で「はい」と回答した親の割合

実績（2017）

79.9%

現状（2023）

80.5%

目標（2027）

80.9%

1 | 産後子育て支援事業

- ・保健師・助産師による乳児家庭全戸訪問事業（こにちは赤ちゃん事業）の実施
- ・妊婦等包括相談支援事業の実施
- ・産後ケア・産後ヘルパー事業の実施

直接成果

すべての子育て世代が、孤立せず、子育ての不安や悩みについて相談できる場所を知っている状態

中間成果

子育て世代が気軽に悩みや心配事を相談できる状態

2 | 子育て相談支援事業

- ・ワンストップ窓口設置
- ・困難な状況に置かれた親と子の支援
- ・こどもフードパントリー・こども見守り宅食事業の実施

直接成果

特に支援の必要な子育て世代が不安を相談し、支援が受けられている状態

中間成果

子育てがこどもを取り巻く環境に左右されない状態

3 | こども発達支援事業

- ・発達に不安を抱えるこどもと親への支援
- ・幼児教育アドバイザー派遣
- ・保護者を対象とした講座開催
- ・就学相談、幼児教室、こどもの教室開催

直接成果

こどもの発達特性を知り、適切な支援を受けられる状態

最終成果（施策の方向性）

子育て世代の誰もが悩みや不安を相談でき、安心して子育てできる状態を目指します

(11) 地域と連携した子育て支援

成果
指標

地域の子育て支援事業の延べ利用者数（年間）

実績（2017）

一人

現状（2023）

76,533人

目標（2027）

73,938人

成果
指標

一時預かり事業の延べ利用者数（年間）

実績（2017）

一人

現状（2023）

110,213人

目標（2027）

102,265人

成果
指標

こども誰でも通園制度の延べ利用者数（年間）

実績（2017）

一人

現状（2023）

一人

目標（2027）

624人

1 | 地域の子育て支援事業

- ・地域の子育て支援事業の実施と充実推進
- ・未就園児とその保護者を対象とした支援事業の実施

直接成果

身近な地域の中で子育てにか
かる相談・交流できる場所や
子育て支援イベントが充実し
ている状態

中間成果

子育て世代の相談・ふれあい・支え
合い・交流の機会が確保されて
いる状態

最終成果（施策の方向性）

地域や社会全体で子育て
に対するサポートが行わ
れ、子育てする人の不安
感や孤独感が解消され
ている状態を目指します

2 | 地域保育サービス事業

- ・一時的な預かり事業の実施
- ・こども誰でも通園制度の本格実施に伴う対応及び利用者の利便性向上

直接成果

希望する人はだれでも地域の
中で保育サービスを利用す
ることができる状態

中間成果

こどもの預かりに係るさまざ
まなニーズに応えた受け皿が確保され
ている状態

関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、前橋市地域福祉計画・前橋市地域福祉活動計画、前橋市こども・子育て支援事業計画、まえばし幼児教育充実指針

子育てと仕事の両立支援



目標

現状と課題

預けたいときに預けることができる体制や、こどもが安全に過ごすことができる地域社会を実現することで、子育てと仕事の両立を可能にします

乳幼児の保育体制の充実や児童が安全に過ごすことができる地域の実現により、子育て世代が安心して子育てと仕事に取り組める社会が求められています



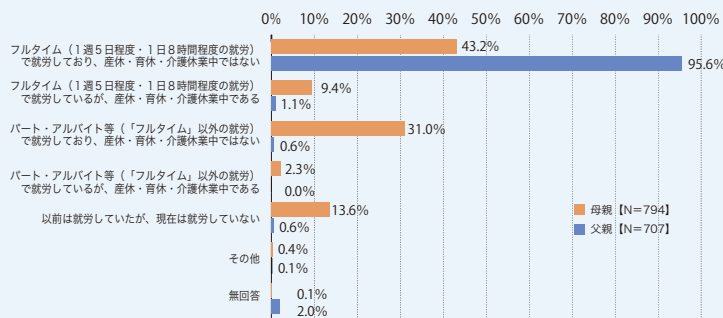
市民に期待する役割

- 保育施設の積極的な活用
- 地域の子どもと関わる活動への積極的な参加・協力機運醸成

企業・団体に期待する役割

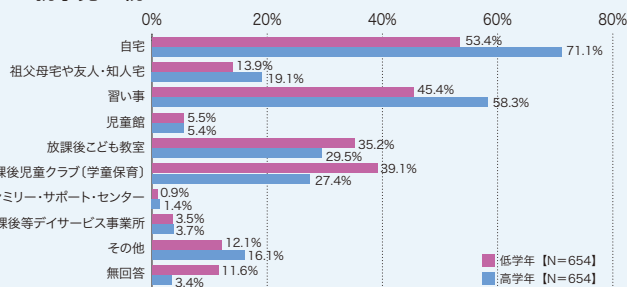
- 民間保育施設・児童クラブの運営
- 子育てと仕事を両立しやすい環境づくり
- 地域によるこどもを見守る体制への参加・人材育成

【保護者の就労状況】※未就園児の親



出典：前橋市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（2024）

【小学校入学後の放課後のこどもの過ごし方（希望）】※就学児の親



出典：前橋市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（2024）

(12) 就学前のこどもの預け先の確保

成果指標

保育を必要とする3歳未満児の保育所（園）・認定こども園の入所者数（年間）

成果指標

病児・病後児保育事業の延べ利用者数（年間）

成果指標

希望の保育所（園）・認定こども園に入所した割合

実績（2017）

3,501人

現状（2023）

3,754人

目標（2027）

3,714人

実績（2017）

581人

現状（2023）

1,132人

目標（2027）

2,862人

実績（2017）

— %

現状（2023）

94.5%

目標（2027）

95.0%

1 | 保育関係施設整備事業

- ・ 保育施設の維持及び機能拡充
- ・ 公立保育所の再整備・統廃合による保育ニーズの需給調整
- ・ 医療的ケア児受入れなどの機能拡大

直接成果

保育ニーズに応じた保育の受け皿が地区に偏りなく確保でき、保育環境が維持・整備されている状態

中間成果

公と民が相互に補完しながら保育需要に対応し、いつでも希望するときこどもを預けることができる状態

2 | 保育関係施設運営・支援事業

- ・ 民間保育施設の安定運営及びサービス確保の推進
- ・ 休日保育や延長保育、病児・病後児保育、医療的ケア児保育の実施

直接成果

さまざまな事情を持つ方へ適切な保育サービスを提供できている状態

中間成果

保育を希望する人のさまざまなニーズに応じた保育サービスが提供できている状態

3 | 保育人材確保対策事業

- ・ 公立保育所における計画的な人材確保と人材育成
- ・ 保育士の新規就労支援
- ・ 保育施設における専門的人材の確保支援

直接成果

保育人材や専門的人材が確保され、必要な保育サービスの質が維持できている状態

最終成果（施策の方向性）

子育て支援を必要とする人が、誰でも不安なくこどもを預けられ、安心・安定して仕事ができる環境が整っている状態を目指します

(13) 放課後のこどもの居場所づくり

成果
指標

放課後児童クラブ利用者数（年間）

実績（2017）

3,515人

現状（2023）

5,059人

目標（2027）

4,906人

1 | 放課後児童クラブ運営事業

- ・放課後児童クラブ（公設、民設）の運営委託
- ・放課後児童クラブ職員研修等
- ・放課後児童クラブに対する各種補助事業及び運営支援

直接成果

放課後や夏休みなどにこどもが安全に安心して過ごせる場所が提供できている状態

放課後に支援を行う人材を育成し、見守りに必要な体制が確保されている状態

中間成果

こどもの就学後も保護者が安心して働くことができる状態

中間成果

地域で放課後のこどもの居場所について関心を持ち、支援する体制が整っている状態

2 | 遊び場利用推進事業

- ・遊び場事業の実施
- ・遊び場指導員の研修等実施

地域の協力を得て、放課後のこどもの居場所が提供できている状態

最終成果（施策の方向性）

放課後にこどもが安全に過ごすことができる環境があり、子育てする人がこどもの就学後も安心して子育てと仕事の両立ができる状態を目指します

関連する個別計画

県都まえばし創生プラン、前橋市こども・子育て支援事業計画

